

自己評価・施設関係者公表シート

1・本園の教育目標

教職員が愛情をもってひとりひとりの園児に向き合い、あそびを主とした
さまざまな経験をともにすることで、あかるく、やさしく、そして
たくましい子どもの育成を目指す。

2・本年度・重点的に取り組む目標・計画

- 1・預かり保育の対応
- ① 2号園児が増加した場合の対応
- ② 担当人員の補強
- ③ 2号の園児の保育時間の精査
- 2・教育・保育の推進
- 園の教育内容や子どもの様子を保護者や地域の方に伝え、
本園の教員に対する理解を推進する。
- 3・安全管理
- ① 火災・地震・浸水などを想定した避難訓練を重点的に実施する。
- ② 不審者侵入を想定した防犯訓練を定期的に行う。(防犯意識を高める)

3・評価項目の達成および取り組み状況

① 預かり保育の対応

評価項目	結果	取り組み状況とその課題
(1) 2号園児が増加した場合の対応	4	<取り組み状況> ① 施設面、保育室の整備 利用人数が多い場合は3保育室で対応する。 (感染症対策、より安全に子どもたちを見守るため) ② 担当人員の増強 預かり担当の教員2名のうち、1名を常勤に変更する。 より長い時間預かり保育の人員を確保する。 ③ 2号の園児の保育時間の精査 勤務シフト表を確認し、必要な保育時間を把握する。 <課題> ① 雨天時の子どもたちのあそび場所の確保 ② 勤務シフト表があいまいな保護者が多い。

5・今後取り組むべき項目

今後のアクション項目	具体的なアクション方法
園児の確保の方法について	① 1号認定→ 園の見学会や給食試食会の回数を増やし、本園のあり方についてじゅうぶんな理解がしてもらえるように努め、園児数の確保に努める。 ② 2号認定→ 2号を希望する園児が増加している状況を踏まえ、長時間保育を受ける園児が安全に過ごせる環境を維持する。
子育て支援事業の更なる推進	① 地域の親子交流の場（こじかクラス）を提供しているが、実施日などの周知をより広げていく。情報交換や保育教諭による発達の相談ができる場を広く提供する。 ② 園庭開放など、広く地域の親子に園庭と園設備の開放をし、多くの親子が利用できるようにする仕組みづくり
園内研修・研究の充実	本園の保育内容や遊びについて、教員の資質向上につながるように専門講師からアドバイスをいただくなどの機会をつくる。

6・施設関係者の評価（評価委員 3名→ 保護者2名、園評議員1名）

- ・毎日おいしい給食が食べられており、子どももいつも美味しかったと話しています。
仕事をしている身としてはとてもありがたいです。できましたら私たち保護者が子どもたちの給食の様子を見られる参観などがあればうれしいです。（保護者）
- ・インフルエンザやその他の感染症などの人数が多くなってくるとメールで教えていただけるのはありがたいです。家庭でも子どもの様子を気を付けて見ようという意識ができるので、引き続き教えてもらいたいです。（保護者）
- ・徒歩通園では先生が園児1人1人をしっかり見ていらっしゃる姿が見られました。
自転車や大通りでの交通事情などに気を付けて、引き続き安全面に配慮を続けてください。
(幼稚園 評議員)

7・財務状況

毎年度、公認会計士の監査を受けており、適正に運営している。
詳細は令和6年度監査報告書に記載している。

